

行政視察レポート

他市から学んだ
あんなこと
こんなこと

市民サービスの向上や、住みやすいまちづくりを行うために、委員会が所管している行政事務に対し、先進的な取り組みや創意工夫を凝らした施策についての調査・研究（行政視察）を行っています。委員会などでの審査や所管事務調査等において、視察調査内容を生かした提言などを行い、市政へ反映させています。

総務産業常任委員会

○観光基本計画について

(愛知県西尾市)

○観光施策について

(愛知県一宮市)

西尾市は、山や海などの自然、歴史や文化、特産品など様々な観光資源を有しており、魅力あふれるまちである。特産品については知名度アップや消費拡大に向けて、全国各地のイベントなどに出店する「モノ」消費に取り組むだけでなく、工場見学や特産品を自分で製作する体験などの「コト」消費にも力を入れている。



建設水道常任委員会

○IoTとAIを活用した効率的予防保全型マンホールポンプ維持管理技術の実証事業について

(大阪府河内長野市)

○広島市街区公園等指定管理者選定事業及び維持管理業務について・公園活用による地域コミュニティ活性化支援事業(小さなエリアマネジメント)について

(広島県広島市)

河内長野市では、マンホールポンプの設置数が多い状況から、令和2年に国が推進する下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）におけるIoTとAIを活用した効率的予防保全型マンホールポンプ維持管理技術の実証研究を実施し、事後保全から予防保全の対応が進み、機器の延命や人件費などを含めたコスト削減がなされた。



文教厚生常任委員会

○ヤングケアラー支援事業について

(愛知県春日井市)

○こども発達センターについて

(愛知県豊田市)

豊田市こども発達センターは、診療、相談・外来療育、通園の3部門で構成される。通園部門では、障がい特性等に配慮して対象児を分けた3つの児童発達支援センターを運営しており、診療部門であるのぞみ診療所と連携することで利用児童の医療情報や養育状況の共有、嘱託医委託による安心感確保、職員の専門性確保など多様な役割を果たしている。



議会運営委員会

○議会運営と議会改革について

(岐阜県可児市)

(三重県いなべ市)

いなべ市では、市議会の行動計画が策定され、議案審議が大きく強化された。議会開会前に、議員間で議案の勉強会を実施、委員会付託時に論点整理を行い、審査の着眼点を共有するなど、質の高い質疑と議論を促進。最終的に、議案への賛否理由を明確に説明できるため、議決への責任ある参加や市民への情報公開が強化されていた。



Report!

常任委員会 所管事務調査報告

長岡京市議会では、令和5年12月議会から、各常任委員会で、所管（担当）する分野のそれぞれの課題についてテーマを設定し、所管事務調査を行ってきました。

9月定例会の最終日に提出された報告書の主な内容をご紹介します。

総務産業 常任委員会

・観光戦略について



▲愛知県一宮市視察の様子

先進地視察では、観光に関するSNSの活用に力を入れており、行政の職員が発信を行うアカウントに加え、アカウント運営自体を民間に委託し、即時積極的に情報発信を行うなど様々なSNSの活用方法について学び、本市のSNSの活用について議論が集まった。閲覧者の興味・関心を惹き、投稿をリーチさせられるようなSNS運用は重要な課題である。先進地視察で学んだことを参考に本市ではどのようなSNSの活用がされているかなど見識を深めていく。今後は、宿泊施設の建設が予定されており、市内を周遊していただくような取り組みや「モノ」消費だけではなく、「コト」消費と呼ばれる体験型の取り組みなどを進めていくことが重要であると考え、本市で実施できる取り組みなどについて委員一同議論を深めていく。

建設水道 常任委員会

・公園等の利活用について ・治水対策について



▲広島県広島市視察の様子

下記2つのテーマについて、調査・研究を行った。

①公園等の利活用について

近隣公園や地区公園は規模が大きいことから、行政だけでなく民間活力も取り入れた公園管理・運用方法や、利活用のアイデアを検討することが必要と考える。街区公園は地域ごとに公園の利用状況が違うことから、地域の実情やニーズに合わせた活用方法の検討が必要である。

②治水対策について

本市の治水対策は、いろは呑龍トンネルへの接続や神足雨水ポンプ場関連の整備など、浸水被害の軽減に向けた対策が進められているが、民間への治水対策の協力依頼や、河川の整備などにおける国や都道府県が管理する部分の対応といった、相互の連携を通しての対策をさらに進めることが必要と考える。

文教厚生 常任委員会

・環境施策について ・子どもの育つ環境について



▲愛知県春日井市視察の様子

下記2つのテーマについて、調査・研究を行った。

①環境施策について

環境に配慮した行動の結果が見える化されることがモチベーションの維持・向上につながるため、市で実施している見える化の取り組みが日常的に市民の目に触れるような工夫が重要である。

②子どもの育つ環境について

小規模保育は、小規模保育施設の卒園後も保育が継続できている現状を周知して、保護者の不安を払しょくすることが重要である。学齢期における発達支援は、リンク・ブックの一層の利用促進に期待が寄せられた。先進地視察ではヤングケアラーについて周知啓発する重要性や、児童発達支援センターと診療所が連携する重要性を学んだ。